

目次

総説	日本インフラの「技」 ^{わざ} ～インフラ実力診断の「環」として～	家田仁	5
----	--	-----	---

鼎談	日本社会とインフラのイノベーションを語る		
----	----------------------	--	--

「鼎談メンバー」富山和彦、濱田文子、家田仁 「執筆」茶木環

第1章 システム

01	新幹線の強みと弱み	金山洋一	30
02	L1、L2の二段構えによる粘り強い災害対策	中居楓子	34
03	民間鉄道と都市開発の統合スキーム	小林一三モデルの誕生と進化 土井勉	40
04	ユーザー志向の公共空間整備の意義	視覚障害者誘導用ブロックの発祥国としての責務 稲垣具志	46
05	「おもてなしの空間」としてのトイレ整備	市野智也	52
06	高規格堤防（スーパー堤防）	堤防と市街地の一体化による水辺のまちづくり 池内幸司	58
07	国土を測る電子基準点の取り組み	変革する社会への適応 川元智司	64
08	多様な主体をつなぐ道守システム	協働型道路維持管理から地域づくり活動へ 吉武哲信	70
09	治山と砂防の国土メンテナンス	水山高久	76
10	世界の水環境を支える日本の下水道	福士謙介	80
11	センシング技術	宇宙からの目への期待 古田竜一	84
12	日本の災害から生まれた無人化施工技術	北原成郎	90
13	グローバル化のフェーズに入る日本の橋梁の課題	春日昭夫	98
14	大量データの管理と活用	土木分野における大規模数値シミュレーションの展開 大石哲	104

15 都市政策と連携した治水	清水義彦	110
16 国を、地域を、人をつなぐ水底（沈埋）トンネル	三浦幸治	114
17 国土づくりを先導した大規模工業港——臨海工業地帯の進化と日本型港湾開発の展開——	井上聰史	118
第2章 制度		125
01 60周年を迎える高等専門学校——KOSENとしてのさらなる進化・深化へ——	赤対秀明	126
02 土地区画整理事業制度による市街地の面的整備	岸井隆幸	132
03 特例容積率適用地区制度——境界を越えた課題解決のために——	下大園浩	136
04 暮らしの質を高める都市公園の整備	舟久保敏	140
05 有料道路制度を活用して整備された高速道路システム	松坂敏博	144
06 連続立体交差事業について——連立事業によるまちづくりを促進するための工夫——	都築正	148
07 「道の駅」第3ステージ	地方創生・観光を加速する拠点 東佑亮	154
08 浅深度と大深度における地下空間利用	大沢昌玄	160
座談会① 日本インフラの「強み」と「オリジナリティ」はどこに？——成熟のその先に向けた自己認識と挑戦——		166
『座談会メンバー』 浅本晋吾、家田仁、春日昭夫、森昌文〔司会〕中居楓子		
第3章 要素技術		179
01 マスコンクリートのひび割れ制御技術——大型構造物の新規建設の少ない今、目指す展開は？——	浅本晋吾	180
02 千年ダムを目指したダム再生技術	角哲也	184
03 SELF-COMPACTING CONCRETE	大内雅博	190
04 CSG工法にみる『地産地作』の強み	高瀬健二	194

05	鉄道における高度な線路メンテナンスと直結系軌道	片岡宏夫	198
06	橋の耐震設計・耐震補強技術	大住 道生	202
07	長大橋の維持管理―予防保全の実践とたゆまぬ要素技術の開発―	西谷 雅弘	206
08	サステナブルな技術革新 日本発海外に拡がる管路更生「SPR工法」	今川 明	212
09	セメント製造における廃棄物活用	星野 清一	218
10	開削工事を支える日本の仮設土留め工―技術の高さと海外展開の課題―	幸良 淳志	224
11	液状化対策技術―時代のニーズに応じて進化するSCP工法―	原田 健二	228
12	土壌地下水浄化技術―土木インフラを支える地盤環境を守る―	樋口 雄一	234
13	時代とともに進化を続ける「ニューマチックケーソン工法」	鈴木 正道	240
14	エレメント／函体推進・けん引工法―現場で磨かれ進化する特殊トンネル工法の技術―	渡邊 明之	246
15	LNG地下タンクの建設技術	青木 浩之	252
16	水底トンネルを建設する要素技術の進化	伊藤 一教	258
17	再興なるかシールド先進国ニッポン	小澤 勇介	264
座談会②	持続可能な社会におけるインフラの「強さ」とは？		
	〔座談会メンバー〕 真田 純子、森 信人、山本 肇	〔司会〕 中居 楓子	268
結 言	終わりに	羽藤 英二	280
編集後記	〔座談会メンバー〕 浅本 晋吾、幸良 淳志、中居 楓子、羽角 華奈子		284